



## 2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年2月14日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東  
 コード番号 9268 URL http://www.optimusgroup.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 嘉悦 清隆 TEL 03 (3456) 1764  
 四半期報告書提出予定日 2018年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (2017年4月1日～2017年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	19,727	—	1,192	—	1,316	—	844	—
2017年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 983百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	167.83	164.23
2017年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 前四半期連結累計期間は、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成していないため、前期の数値及びこれに対する増減率については、記載しておりません。  
 2. 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 3. 当社は、2017年12月26日に東京証券取引所市場第2部に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2018年3月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2018年3月期第3四半期	19,739	9,683	9,683	49.1		
2017年3月期	18,890	8,248	8,248	43.7		

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 9,683百万円 2017年3月期 8,248百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年3月期	—	0.00	—	—	—
2018年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2018年3月期の連結業績予想 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,672	△5.2	1,588	0.8	1,696	△12.8	1,078	△21.1	211.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期3 Q	5,293,125株	2017年3月期	5,022,525株
② 期末自己株式数	2018年3月期3 Q	－株	2017年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期3 Q	5,029,413株	2017年3月期3 Q	－株

(注) 1. 当社は2017年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、北朝鮮や中東地域における地政学リスクの高まりなどの懸念は残るものの、貿易、生産が世界的に拡大し内需も底堅く、先進国、新興国・途上国ともに同時進行で景気が緩やかに成長しております。経済規模が世界最大のアメリカ経済は、底堅い個人消費と企業の設備投資がけん引し、堅調な成長が持続しております。中国経済は、不動産投資の急減速及び不良債権増加に伴う金融不安が懸念されるものの、債務依存の引き下げ、国有企業改革などの構造改革の動きもあり、底堅い個人消費や輸出の持ち直しにより安定的な成長基調で推移しており、経済依存度の高いニュージーランド、新興国及び資源国の経済にも好影響を与えております。

さらに、ニュージーランド経済は、新政権に対する政策不透明感の再燃に伴う景況感の悪化懸念は残るものの、政策金利は1.75%と最低水準にあり、継続的な移民の流入などが内需を下支えし、底堅く推移しております。

そのような状況のもと、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)における中核事業子会社である(株)日貿において、低価格帯の商品取扱比率が低下及びEV(電気自動車)などの高単価商品の販売強化により、1台当たりの販売単価は上昇いたしました。しかしながら、低価格帯の商品の販売台数が減少したことに伴い当第3四半期連結累計期間の中古自動車販売台数は28,055台と前年同期比8.9%減少いたしました。その影響により、物流セグメントの中核事業子会社Dolphin Shipping Australia Pty Ltdの輸送台数が、ニュージーランド向け輸送台数が減少したことを主因として、26,891台となり、前年同期比4.0%減少しております。

当第3四半期連結累計期間においては、期中平均為替相場が円安（ニュージーランドドル高）に変動しました。また、国内の子会社が保有する外貨建資産から為替差益が発生したこと等により為替差益1億15百万円を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高197億27百万円、営業利益11億92百万円、経常利益13億16百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益8億44百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①貿易

前述のとおり、中古自動車の1台当たりの販売単価は上昇したものの販売台数は減少いたしました。また、仕入れ単価も上昇いたしました。

この結果、売上高は107億25百万円、セグメント利益は76百万円となりました。

#### ②物流

販売台数の減少により、売上高の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数が減少し、売上高が減少いたしました。その一方、船腹の仕入先との交渉及び新規仕入先の開拓により、輸送原価の削減を行っております。

この結果、売上高は29億48百万円、セグメント利益は5億53百万円となりました。

#### ③サービス

ニュージーランドにおける旺盛な中古自動車への需要を背景に、「SmartBuy」(注)の販売が好調でありました。また、投資段階であった新規事業のレンタカー事業が本格化しております。

この結果、売上高は35億3百万円、セグメント利益は87百万円となりました。

#### ④検査

ニュージーランドにおける中古自動車販売市場の好調を背景に同国向けパイオ検査(検疫)件数は82,702件と前年同期比3.8%増加しました。また、(株)日本輸出自動車検査センターにおける検査台数も堅調に推移し、売上高が増加しました。

この結果、売上高は25億49百万円、セグメント利益は5億34百万円となりました。

(注)「SmartBuy」:現地法人が(株)日貿から中古自動車を仕入れ、船舶輸送、輸入手続、コンプライアンスセンター(認証検査事業者)への配送、ニュージーランドにおける輸入車検等を組み合わせてパッケージとして販売する形態

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ0.4%増加し、153億55百万円となりました。これは主に、自動車ローン事業における販売金融債権が6億3百万円増加したこと及びたな卸資産が3億21百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ21.9%増加し、43億83百万円となりました。これは主にレンタカー事業において車両を取得したこと等により有形固定資産が7億65百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4.5%増加し、197億39百万円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、80億72百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億54百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ17.6%減少し、19億84百万円となりました。これは主に長期借入金に4億5百万円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5.5%減少し、100億56百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ17.4%増加し、96億83百万円となりました。これは主に新規株式上場にあたり実施した公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2億25百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を8億44百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2017年12月26日の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,510,427	4,683,357
売掛金	7,242,031	7,710,544
たな卸資産	2,179,463	1,858,027
繰延税金資産	135,994	132,396
その他	1,367,124	1,106,954
貸倒引当金	△141,306	△135,460
流動資産合計	15,293,735	15,355,820
固定資産		
有形固定資産	3,113,741	3,879,230
無形固定資産	84,936	98,327
投資その他の資産	397,663	406,008
固定資産合計	3,596,342	4,383,567
資産合計	18,890,077	19,739,387
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	323,093	335,492
短期借入金	6,300,000	6,300,000
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
1年内返済予定の長期借入金	295,068	227,589
未払法人税等	397,254	242,646
賞与引当金	73,493	41,810
繰延税金負債	3,288	3,364
その他	787,663	867,990
流動負債合計	8,233,261	8,072,293
固定負債		
社債	185,900	159,200
長期借入金	1,903,316	1,497,524
繰延税金負債	171,877	182,903
退職給付に係る負債	125,810	135,808
その他	21,025	8,600
固定負債合計	2,407,930	1,984,038
負債合計	10,641,191	10,056,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,829	383,104
資本剰余金	1,601,188	1,826,462
利益剰余金	7,080,502	7,924,581
株主資本合計	8,839,520	10,134,148
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△590,634	△451,092
その他の包括利益累計額合計	△590,634	△451,092
純資産合計	8,248,885	9,683,055
負債純資産合計	18,890,077	19,739,387

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	19,727,209
売上原価	15,211,593
売上総利益	4,515,615
販売費及び一般管理費	3,322,825
営業利益	1,192,789
営業外収益	
受取利息	61,955
為替差益	115,126
持分法による投資利益	12,363
その他	78,374
営業外収益合計	267,819
営業外費用	
支払利息	110,414
その他	33,696
営業外費用合計	144,111
経常利益	1,316,498
特別利益	
固定資産売却益	1,356
関係会社清算益	7,231
特別利益合計	8,587
税金等調整前四半期純利益	1,325,086
法人税等	481,007
四半期純利益	844,079
親会社株主に帰属する四半期純利益	844,079

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	844,079
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	139,214
持分法適用会社に対する持分相当額	326
その他の包括利益合計	139,541
四半期包括利益	983,620
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	983,620
非支配株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年12月26日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。上場にあたり、2017年12月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行270,600株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ225,274千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は383,104千円、資本剰余金は1,826,462千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,725,852	2,948,478	3,503,000	2,549,877	19,727,209	—	19,727,209
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,682,323	449,602	38,564	486,403	2,656,894	1,013,903	3,670,797
計	12,408,175	3,398,081	3,541,565	3,036,281	22,384,103	1,013,903	23,398,007
セグメント利益	76,774	553,002	87,960	534,898	1,252,637	200,316	1,452,954

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものです。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,252,637
「その他」の区分の利益	200,316
セグメント間取引消去	△260,164
四半期連結損益計算書の営業利益	1,192,789

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。